

2011年度

科目名	教科教育法特講Ⅳ				
担当教員	竹本 封由之進				
配当	専攻1		コード	25015	
開期	後期	講時	火曜日5限	単位数	2
授業テーマ	図画工作科指導の探求				
目的と概要	子どもにとって「本当に楽しい」と思える図画工作科の指導法をともに探求します。 「本当に楽しい」は「遊び」の精神であり、「自主→集中→継続→成就→発展」の道筋の中で、工夫や学びが生まれる姿です。子どもが「本当に楽しい」と思える授業をするためには、指導者はどうすればいいのか、実際に集まったメンバーで追究していきます。指導案作成、準備、場の設定、導入、指導・支援、鑑賞、評価という実際の授業における指導者の活動を通して、各自の指導者としての資質・能力を高め、プロ教師としての見識を深めてもらいたいと期待します。				
成績評価法	・主に、・演習の様子・提出レポート・自己評価などによって総合的に評価する。				
テキスト	必要に応じてテキスト・資料を紹介する。				
参考書	小学校学習指導要領図画工作科編解説 文部科学省（指導案立案に必要です）				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	授業の特性より、人数制限(40名以内)を行います。詳しくは教務課の掲示を見てください。 本科目を履修した場合、毎回のレポートと一人1回以上の授業演習が課題となります。 また、それに伴う必要経費(材料費)の徴収もあることを了承してください。 毎回の課題等、大変ですが、確実な実力をアップを目指します。(前年度実力アップ実感度100%)				
講義計画					
回	表 題	実技・実習の内容		備 考	
1	ディスカッション	教育実習を振り返って		グループ分け	
2	図画工作科の指導(講義)	指導案作成		示範授業	
3	低学年「A表現」①	「造形遊び」			
4	低学年「A表現」②	「絵に表す」			
5	低学年「A表現」②	「立体に表す」			
6	中学年「A表現」①	「造形遊び」			
7	中学年「A表現」②	「絵に表す」			
8	中学年「A表現」②	「立体に表す」			
9	高学年「A表現」①	「造形遊び」			
10	高学年「A表現」②	「絵に表す」			
11	高学年「A表現」②	「立体に表す」			
12	低学年「B鑑賞」	「鑑賞」(各自の表現から)			
13	中学年「B鑑賞」	「鑑賞」(身近な表現から)			
14	高学年「B鑑賞」	「鑑賞」(芸術作品から)			
15	まとめ(講義)	評価票完成		評価票提出	
*受講人数、受講者の希望により、内容を多少変更することがあります。 (希望や都合にできる限り合わせたいと思います。第1回の講義で調整するので必ず参加のこと。)					